



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(22) 7207番

※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.4.20 No.3577

4.29 反戦共同行動統一行動へ PKO法案を廃案へ！首都圏統一行動

本年初頭から「共和」「佐川」疑惑をめぐる金権腐敗政治の追及にその基盤が揺さ振られた宮沢内閣は、「今通常国会での成立」を事あるごとに吹聴しまわっている。特に、タイ国境のカンボジア難民三七万人のカンボジア帰還が三月末に始まり、インドネシア、タイなどの部隊がカンボジアに到着したことで、いよいよ尻に火のついた宮沢内閣は、何としてもカンボジアへの自衛隊派遣を行なおうと、PKFの凍結、PKO法案の一部修正、事前の国会承認など、自公民体制の修復を基軸にして、「国際貢献」を振りかざしてあくまでもPKO法案成立を狙っている。

「平和のため」から始まる侵略戦争

しかし、この「国際貢献」という美しく飾られた仮面の下には、アジアへの再侵略という猛毒が隠されているのだ。

戦争はいつも「平和のため」という旗を掲げて始められることを肝に銘じ、PKO法案＝自衛隊海外派兵を絶対に許さない闘いに立ち上がろう。

四・二九反戦共同行動委員会第一波首都圏統一行動に結集しよう。



連合は、この間PKO法案反対の社会党議員に対し選挙不協力の脅しをかけPKO推進の民社党議員を連合候補とするなど百パーセント現代版「産業報国会」としての正体をさらけだしてきている。連合山岸会長は、三月十五日テレビ朝日でのインタビューで、「外交・防衛問題に関する政治方針について」次ぎのように語っている。

自衛隊は、専守防衛と文民統制を前提として認める。

として、「私は、条件つき合憲論者。原則論者でない。」として自衛隊の合憲にまで踏み込むことを示唆。

「PKO廃案はだめ。日本が国際貢献に真面目でないと認められる。日米安保条約については認める」

として、それに加え、大会では「連合国際協力隊を設置し、積極的に活動を援助する。」というトンドナイ方針を提起している。連合が全面的に賛美している「青年海外協力隊」なるものは、現

地の民衆が憎しみをこめて敵視しているように日本政府支配階級と結びついた現地政権の手足となつて対ゲリラ工作をはじめ、あらゆる「工作」に手を染めているのが実態である。それを政府だけでなく、連合が民間人や連合組合員を動員し行おうというのである。

「連合の「犯罪性」と「破綻」」

連合は、政府・支配階級の攻撃に反対する労働者(組合)の動きを

政治的連合

PKO法案成立に手をかき、侵略と派兵、労働者をひきこきこむ連合方針！

おさえこみ、一掃し、日本の労働者階級を丸ごと戦争と反動の流れの中にひきずり込もうとしているところに最大の犯罪性がある。その意味では、JR総連革マルと「同一」である。

だが、彼らは決して「順調」ではない。否、むしろピンチですらあるのだ。

「事業団闘争」、動労千葉のた

たかいははじめ新たな労働運動の創造の力が、山岸が吹聴した「一千万人結集」を吹きとばし公表七百七十四万人と約二十四万人減となつている中にも連合の行きずまりを見てとることが出来る。

「交流」センターの強化・拡大、反戦・侵略阻止の大きなうねりをつくり出し、もって連合を更に追込もう。

産業報国会

戦前、1937年7月7日、日本帝国主義による中国全土への侵略の全面拡大に際し全日本労働同盟幹部は「スト絶滅宣言」を発しそのあと産業報国会を結成、労働組合の解散へとなだれ込み、労働者総体を戦争へと引き込んでいった。

4.29 反戦統一行動へ！

東京・日本青年館 一三時から、集合。千葉駅(10番)11時17分発(日) 且敷後部